

ひまわり



令和3年4月26日(月)

今は我慢



朝と夜、新聞を読むことが日課となっています。ゆっくり読む余裕のない時でも、見出しには目をとおすようにしています。この一年余りは、新型コロナウイルス感染症のことが書かれていない日はなかったように思います。

昨日、東京、大阪、兵庫、京都の4都府県に、政府から緊急事態宣言が発令されました。昨日の朝刊の新型コロナウイルスに関する記事では、「緊急事態休業次々」「聖火 コロナに翻弄され」「ワクチン接種 規制緩和を」といった見出しがあり、それぞれについて詳しく書かれていました。とりわけ、ワクチンに関しては、現状を良い方向に一変させることのできる唯一の要素だけに、食い入るように記事を読みました。十分なワクチン確保・迅速な接種・接種を行う人材の確保がキーポイントだと感じました。接種を行う人材については、吉村知事が、予防接種法の拡大解釈で、医師や看護師以外の医学生や薬剤師も接種できるようにすべきとの考えを示していました。このような考えは、緊急時において、デメリットよりもメリットの方が大きい場合、前向きに検討すべき意見ではないかと個人的には思います。医師や看護師以外が行う接種は、すでに実施している国もあります。

ところで、気にかかる見出しもいくつかありました。「今日が最後 駆け込み客も」⇒ 緊急事態宣言を前に多くの人が飲食店にくり出したという記事。「患者重症化も転院先なく」⇒ 病床ひっばくで、中等症患者が重症化しても転院先がないという記事。

前者は、いかがなものかと思います。皆さんの中にも、テレビ報道を見た人がいることでしょう。後者の記事を読んだ時は、とても恐ろしく感じました。もし、自分が感染し、重症化しても、十分に対応してもらえる病院に入院できないかもしれないということです。命の選別をされる可能性があるのです。皆さんは、これらの見出しを見て、どのように思いますか。

間もなくゴールデンウィークを迎えます。通常なら、多くの人がレジャーを楽しむ期間です。しかし、今は違います。多くの人が現状の深刻さを理解し、感染拡大防止のための適切な行動をとってほしいものです。そうすることが、自分と自分の大切な人を守ることにつながるのです。今は我慢。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

